



初日の出

令和4年1月1日朝は、快晴の天気でしたが、寒気が残り、海上には厚い雲がありました。朝7時の気温はマイナス1・6℃、西北西の風2・1メートルでした。

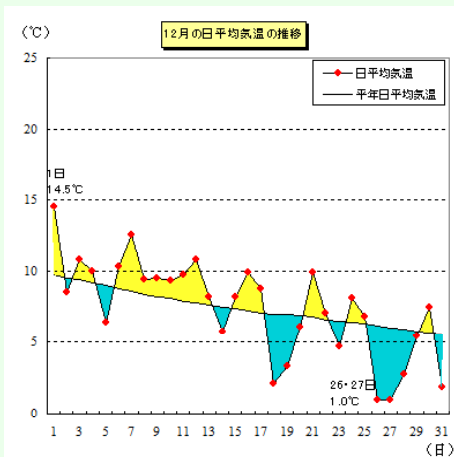


令和4年1月号



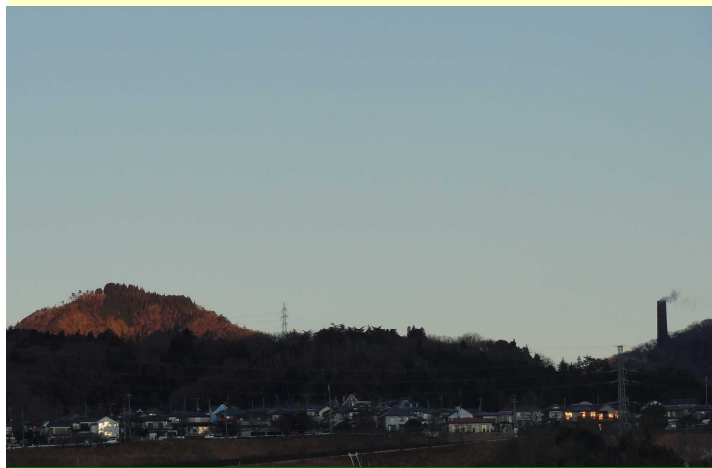
12月の気候

12月は、上旬は暖かい空気が入りやすく、まとまった雨となつた日があり、下旬は寒気が入りやすく、雪がちらつく日もありました。月平均気温は7・4℃と平年並となり、1日と8日はまとまった雨が降り、月合計降水量は121・5ミリと平年の2・6倍と多く、月合計の日照時間は188時間と、平年とほぼ同じとなりました。

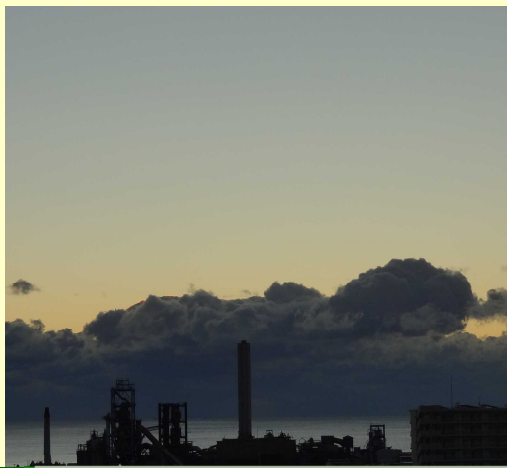


1カ月の予報 (気象庁発表)

1月は、はじめ、低気圧の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないため、気温は「ほぼ平年並」、降水量は「平年並みか多い」、日照時間は「平年並みか少ない」見込みです。



7時すぎの山の様子



日の出の時間の様子

初日の出 (続き)



天気用語の基礎知識

大雨注意報4

大雨注意報(土砂災害)の発表には、「土壌雨量指数」が利用されているが、この指数は、大雨警報、大雨特別警報のほか、土砂災害警戒情報の発表にも利用されている。土砂災害警戒情報は、警報の基準を超え、特別警報の基準に達する間に、基準があることが多く、土砂災害に関する情報は、大雨注意報、大雨警報、土砂災害警戒情報、大雨特別警報と4段階ある。

神峰の山から

1月1日は、6時49分頃の日出に備え、6時40分頃から屋上に待機していました。水平線上にだけ厚い雲がかかっており、雲の上から太陽が顔を見せるまで、屋上にいました。部屋に戻ろうかとも思いましたが、雲がすくなくなってきた傾向も見られたため、いつかいつかとまっています。太陽が昇ってくると、神峰山など標高が高いところから順に、日があたりだし、7時10分頃にはようやく市役所屋上にも日があたりました。氷点下のなかでしたが、太陽のぬくもりを実感することができました。

朝出勤するときに、見知らぬ車に煽られ、モヤモヤした気分だったものも、忘れさせてくれました。